

ベトナムの2024年1-3月期GDP成長率は5.66%



《2024年1-3月期GDP成長率は5.66%》

ベトナムの2024年1-3月期のGDP成長率（実質ベース、前年同期比増減率）は5.66%で、前四半期（2023年10-12月期）の6.72%からやや減速している。セクター別の成長率は、農林水産業が前四半期の4.13%から2.98%へ低下、鉱工業と建設業が前四半期の7.35%から6.28%へ低下、サービス業は前四半期の7.29%から6.12%へ低下となっている。2023年4-6月期以降続いていたGDP成長率の拡大傾向は一服した。

鉱工業と建設業のGDP成長率の内訳をみると、製造加工セクターが前四半期の7.97%から6.98%へ、建設セクターが前四半期の9.32%から6.83%へ低下している。FDI企業（FDIはForeign Direct Investmentの略で海外資本がベトナム国内に設立した企業のこと）の輸出回復が顕著になっていることから、主力品目の情報機器の在庫調整が進展し、生産活動の回復加速が期待されたが、期待に反しての失速となった。鉱工業生産統計をみると、スマートフォンを中心とした携帯電話の2024年1-3月期の生産数量は前年同期比13.3%減、3月単月でも前年同月比17.0%減となっており、回復の兆しは見えない状況となっている。一方、石油製品、化学肥料、鉄鋼製品、電力などの産業が比較的高い水準の生産数量の増加を示しており、これらの産業が情報機器の低迷をカバーし、製造加工セクターのGDP成長率を下支えしたと推測される。

サービス業のGDP成長率の内訳をみると、卸売小売セクターが前四半期の9.88%から6.94%へ低下した。生産活動の回復の遅れが雇用者の所得を抑制していること、物価上昇が消費活動の足を引っ張ったとみられる。一方、ベトナムを訪れる外国人旅客数は引き続き高い伸びを示し、運輸業や宿泊・外食サービスなどが高い伸びを持続し、サービス業のGDP成長率を下支えしたと推測できる。

ベトナム政府は2024年のGDP成長率の目標を6.0~6.5%としている。2024年1-3月期のGDP成長率は計画をやや下回っているが、この実績を過小評価するべきではないかもしれない。足元で輸出が回復してきている情報機器の生産回復、それに伴う雇用者の所得環境好転などが成長を加速させる可能性があるためだ。ただし、先行き見通しの改善や金利が低水準で維持されているにも関わらず、不動産セクターの回復は緩慢であり、ベトナム経済に構造的な問題が残っている点には注意が必要だろう。

図表1 主要セクターの四半期実質GDP成長率の動向（単位 十億VND）

	2023年4-6月期累計 （確定値）		2023年7-9月期累計 （確定値）		2023年10-12月期累計 （推定値）		2024年1-3月期累計 （推定値）	
		前年同期比 （%）		前年同期比 （%）		前年同期比 （%）		前年同期比 （%）
GDP	1,406,293	4.05	1,454,276	5.47	1,643,902	6.72	1,396,660	5.66
農林水産業	144,094	3.66	158,330	4.30	184,545	4.13	145,600	2.98
鉱工業と建設業	510,371	2.10	538,174	5.16	605,975	7.35	488,208	6.28
サービス業	623,612	6.17	628,427	6.43	716,362	7.29	627,420	6.12

出所 ベトナム統計総局のデータをもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長（金商）第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

有効期限作成日より180日

News20240401

主な事業 金融商品取引業

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。株式は、価格変動リスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク（カウンターパーティーリスク）、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。